

平成28年度 5月号



新座二中だより

新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

「今このときを大切にす」 生徒をはぐくみます

校長 田村 和昭

5月の新緑の季節は、初々しく爽やかで勢いがあり、そのまま中学生の時期と重なります。さらに、日々成長する中学生そのものようです。

「目には青葉

山ほととぎす 初鯉」

「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」とは、江戸中期の俳人・山口素堂の作。目にも鮮やかな「青葉」、美しい鳴き声の「ほととぎす」、食べておいしい「初鯉」と、春から夏にかけて、江戸の人々が最も好んだものを俳句に詠んでいます。この句が一躍有名となり、江戸っ子の間では、初夏に出回る「初鯉」を食べるのが粋の証となりました。



日本の食文化は、季節を感じながら、季節の味をいただくことを大切にしているので、いち早く旬のものを味わうことは大きな喜びなのです。

初鯉が支持されたもうひとつの理由が、初物の縁起の良さにありました。初物とは、実りの時期に初めて収穫された農作物や、シーズンを迎え初めて獲れた魚介類などのことで、初物には他の食べ物にはない生氣

がみなぎっており、食べれば新たな生命力を得られると考えられ、さまざまな言い伝えも残っています。

「初物七十五日と言ひ、初物を食べると寿命が75日のびる」

「八十八夜に摘んだお茶（新茶）を飲むと無病息災で長生きできる」

初鯉も同様で「初鯉を食べると長生きできる」とされ、大変珍重されたようです。

「今このときを大切にす

いかなければいけない」

4月8日の始業式で3年生の決意の言葉を3組の中野 幸輝君が代表して発表してくれました。その要旨をここで紹介します。

今年3年生にとって最後の体育祭、合唱祭、また京都奈良の修学旅行があります。

～中略～

良いことばかりではありません。服装の乱れや無言清掃の徹底ができていないこと、言葉遣いなど生活態度で様々な課題があります。下級生の模範となる青学年となるために、勉強や部活動だけでなく、学校生活全般から見直して落ち着いた生活を送っていきましょう。

～中略～

3年生にとっての大きな壁である受験があります。今このときを大切にしていかなければいけないと思います。後悔の残らない1年間にしていきましょう。

しっかりと学年の課題も挙げ、そのうえでの決意が頼もしい限りです。新しい学年のスタートにあたり、初物の縁起の良さが第二中学校にも訪れているようです。